

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和2年2月5日(水)
- 2 確認箇所  
免震重要棟集中監視室
- 3 確認項目  
3号機燃料デブリ冷却状況確認試験の実施状況
- 4 確認結果の概要  
原子炉注水停止時の手順の最適化や運転・保守管理上の改善等を目的とした3号機燃料デブリ冷却状況確認試験が2月3日から開始され、免震重要棟において実施状況を確認した。同日は注水を停止する操作が行われたが、本日は注水が再開されたことから、その状況を確認した。
  - ・前回同様、免震重要棟集中監視室と現場の東京電力社員が緊密に連絡を取り合い、慎重に作業を進めていた。
  - ・作業は10時07分から10時49分にかけて実施され、問題なく原子炉への注水再開操作が行われた。(原子炉注水量:  $0 \text{ m}^3/\text{h} \rightarrow 1.4 \text{ m}^3/\text{h}$ )
  - ・作業開始前後で、プラント関連パラメータに異常な値は確認されなかった。
  - ・東京電力によると、今後、3回に渡り原子炉注水流量を  $0.5 \text{ m}^3/\text{h}$  ずつ増加させ、試験開始前の  $3.0 \text{ m}^3/\text{h}$  まで戻すとのことである。
- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。